

県管工事業協会総会

肥後会長 新時代に対応を

県管工事業協会(肥後勝司会長)は25日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで14年度通常総会を開き、業界の強化を図り組織の充実などを柱とする新年度事業計画を決定したほか、任期満了に伴う役員改選では肥後会長を再選した。

総会に先立ち、物故者

に黙とうを捧げた後、肥後会長が「建設産業を取り巻く環境は、益々厳しくなっているが、新たな時代に敏感に対応して、会員一体となって尽力していく」と語り、希望を失わずに強い意志でお願いしたい」と挨拶。

続いて、山之内俊輔副会長を議長に選出し、議事

に入り、13年度事業報告・収支決算、14年度事業計画・収支予算案等を審議。全て原案通り可決承認したほか、任期満了に伴う役員改選では、肥後会長を再選した。また、新年度事業計画は、①業界強化を図り組織の充

来月の「木蔭」欄 担当者決まる

7月の木蔭は次の2氏が担当します。

◇3日(水)、17日(水)、31日(水) 牧本 薫氏

(鹿屋土木事務所道路建設課道路建設第1係公園技師)

◇10日(水)、24日(水) 三島 浩幸氏

(南三島建築設計事務所設計課長)



新役員紹介も行われた総会
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

県設備関連協議会代議員会

新会長に肥後氏



肥後勝司新会長

県設備関連協議会(栗牧典臣会長)は25日、鹿児島市の県電設会館で14年度第23期代議員会を開き、分離分派発注などの継続陳情などを盛り込んだ新年度事業計画を決定したほか、任期満了に伴う役員改選では、新会長に肥後勝司氏(中央工業)を選出した。

▽理事 藤山正博(株)信興工業社 青木英一郎(株)アイテック 鎌田満(株)南開設備 川畑宏(株)旭工業 下田平洋(富士設備工業) 尾上秀和(尾上建設) 中釜秀一(中金電気) 大坪忠俊(南指宿工業) 横山登(水工建設) 草道成男(南北建設) 原田民義(南原建設) 高倉美年(南九州設備)

▽監事 田中重三(川村法律事務所) 古江昭人(三和興業) 森木茂(南大洋水道)

【表彰者】▽永年勤続優秀従業員 前田行範(南本組) 吉山稔(九錦設備工業) 桑原豊(南秋原工業) 塩屋昭次(中金電気) 鶴田利

田中代表が 経営講習会

また、当日は総会に先立ち、講師にITガマダ中、協議会で話し合われた設備業界の抱える諸問題、業界の生の声を発注機関に反映していかなければならない」と挨拶した。

続いて、栗牧会長を議長に議事審議に入り、13年度事業計画並びに収支決算報告、14年度事業計画並びに収支予算案などを審議、執行部原案通り可決した。また任期満了に伴う役員改選では、肥後勝司氏を新会長に選出した。

栗牧会長が「今年度に入り工事が極端に減り、業界全体として厳しさが増している。そのような中、協議会で話し合われた設備業界の抱える諸問題、業界の生の声を発注機関に反映していかなければならない」と挨拶した。

田中代表は「迫り来る電子入札」と題して、発注者による電子入札の活用について、経済的背景や今後の電子入札の実施計画、電子納品の流れなどを分かりやすく解説。出席者は、メモを取るなど熱心に聴講していた。

広辞苑によると、田舎とは都会から離れた土地、郷里、故郷等となっており、故郷とは生まれた土地、ふるさと、郷里等となっている。

私の場合は父親が教員で転勤生活をしてきた関係で生まれた土地は現在の日吉町であるが、その後いくつかの土地を経て、6歳の時父の生まれた土地である東市来町へ帰り、就職するまで住み、その後母親が居住していたため、度々帰郷し、特に両親が年老いた頃からは随分と行き来した土地である。鹿児島市



馬場 春海

田舎と故郷について思う

内に住んで40年ぐらいの月日が過ぎているが、私にとって故郷(田舎)は東市来町であり、出身地や田舎を聞かれたら、迷いもなくそのように答えている。

一般に田舎はどこかと尋ねる場合、この田舎とは故郷(又はふるさと)のことだと思いが、田舎という言葉には、広辞苑によると前記の他に「卑しい」また「粗暴な」の意をあらわす語と書いてある。しかし、田舎をこのように意味で使った

とはほとんどないのではないかと考えている。田舎という言葉は、私にとっては特別の思いがある。母は父が三男で教員をしており、結婚した頃も他の土地に住んでいたことから父の郷里に帰ることはないと考えていたよう

たのを今でも覚えている。父は兄弟が多かったことから母にとっては家を守り、法事等の親戚の集まりなど苦勞も多く大変だったのだと思う。そのような時に、母は自分の住んでいるところを「田舎」といわれることを嫌がっていたのを思い出すのである。そこに住んでいる者にとって田舎といわれることに一種の軽蔑されたような意味を感じていたのかも知れない。

私にとって、田舎とは子供の頃住んでいた家であり、心のよりどころとしての意味を感じているが、母への思い出から、地方に住んでいる人に対して田舎という言葉を使うのには、いまだに抵抗を感じている。私も田舎があるが、両親もいなくなり田舎への気持ちも少し変わってきている。父が大切に守ってきたところであるが、今後どのように守っていくのかと考えると気が重くなるのも本音であり、母の気持ちも少し分かってきたような気がするところである。

(県建設業協会専務理事)



真剣に話し合われた代議員会
＝鹿児島市の県電設会館で

九州運輸局鹿児島運輸支局

来月1日から発足

国土交通省九州運輸局鹿児島陸運支局と同局鹿児島海運支局は7月1日から、九州運輸局鹿児島運輸支局として新たに発足する。

組織改正後の鹿児島運輸支局の名称・所在地は次の通り。

▽鹿児島運輸支局(本庁

- 舎) 鹿児島市泉町18-12 (☎099-222-5660 FAX 224-9805)
- ▽同(谷山港庁舎) 鹿児島市谷山港2-4-1 (☎099-2661-9191 FAX 61-9169)
- ▽同大島自動車検査登録事務所 名瀬市和光町12-1 (☎0997-52-0757 FAX 54-0012)
- ▽同名瀬海事事務所 名瀬市入船町22-1 (☎0997-52-0756 FAX 52-0798)

- ▽田中代表は「迫り来る電子入札」と題して、発注者による電子入札の活用について、経済的背景や今後の電子入札の実施計画、電子納品の流れなどを分かりやすく解説。出席者は、メモを取るなど熱心に聴講していた。
- 新役員は次の通り。
- 会長 肥後勝司(副会長 栗牧典臣(株)栗牧電設) 篠原治(株)親和電機) 和田正憲(アイワ工業) 島中洋(南共栄設備設計事務所) 理事 安田雄昭(大東設備工業) 青木英一郎(アイテック) 藤山正博(株)信興工業社) 川畑宏二(旭工業) 高倉美年(南九州設備) 島田実(南南電工) 濱田英俊(大成電設) 今村五男(今村電気) 山内文治(株)明興テクノス) 三浦哲男(株)大鹿電業) 西田能行(株)西栄設備事務所) 監事 古江昭人(三和興業) 寺田実三(鶴丸電機工業)

【おこわり】毎週水曜日号に掲載の「鹿児島新幹線企画」は都合により休みます。